

景気動向調査報告書

令和3年4月末調査

この調査は、岡谷市の基幹産業である製造6業種（精密、機械、電気、計量、表面処理、
鋳造）の企業の皆様のご協力により、今期（令和3年4月末）を基準とした業況等について
まとめた報告書です。

岡谷市産業振興部工業振興課・岡谷商工会議所

- 調査実施期間

前年同期	前 期	今 期	来 期
令和2年4月	令和2年10月	令和3年4月	令和3年10月

- 調査業種及び調査企業

(件数)

調査業種	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造	合計
調査企業数	40	26	11	7	13	3	100
回答企業数	40	26	11	7	13	3	100

- 従業員数

人数	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50～99人	100人～	合計
企業数	31社 (31.0%)	14社 (14.0%)	8社 (8.0%)	9社 (9.0%)	11社 (11.0%)	17社 (17.0%)	10社 (10.0%)	100社 (100%)

調査結果のポイント

- 米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、平成30年10月の調査から5期連続でマイナス水準が続いていた本市製造業の業況DIは、半導体や医療関連部品の需要増や自動車関連の生産回復を受け、前期における見通しの想定を超え、6期ぶりにプラスへ転じました。
- 原材料仕入価格は大きく上昇している一方で、製品単価は小幅な伸びとなっており、今後、収益への影響が懸念されます。
- デジタル技術の導入については、導入済又は導入予定が約15%にとどまり、「導入予定なし」と回答した企業が約65%を占める結果となりました。
- 高齢者(65歳以上)の雇用については、高年齢者就業確保措置に取り組む(今後導入予定を含む。)企業が半数を超えており、高齢者が活躍できる環境整備が進んでいます。

《令和3年4月末の岡谷市の景気動向》

生産額、受注額が好転したことにより、収益がプラスに転じ、業況DIは6期ぶりのプラスとなりました。

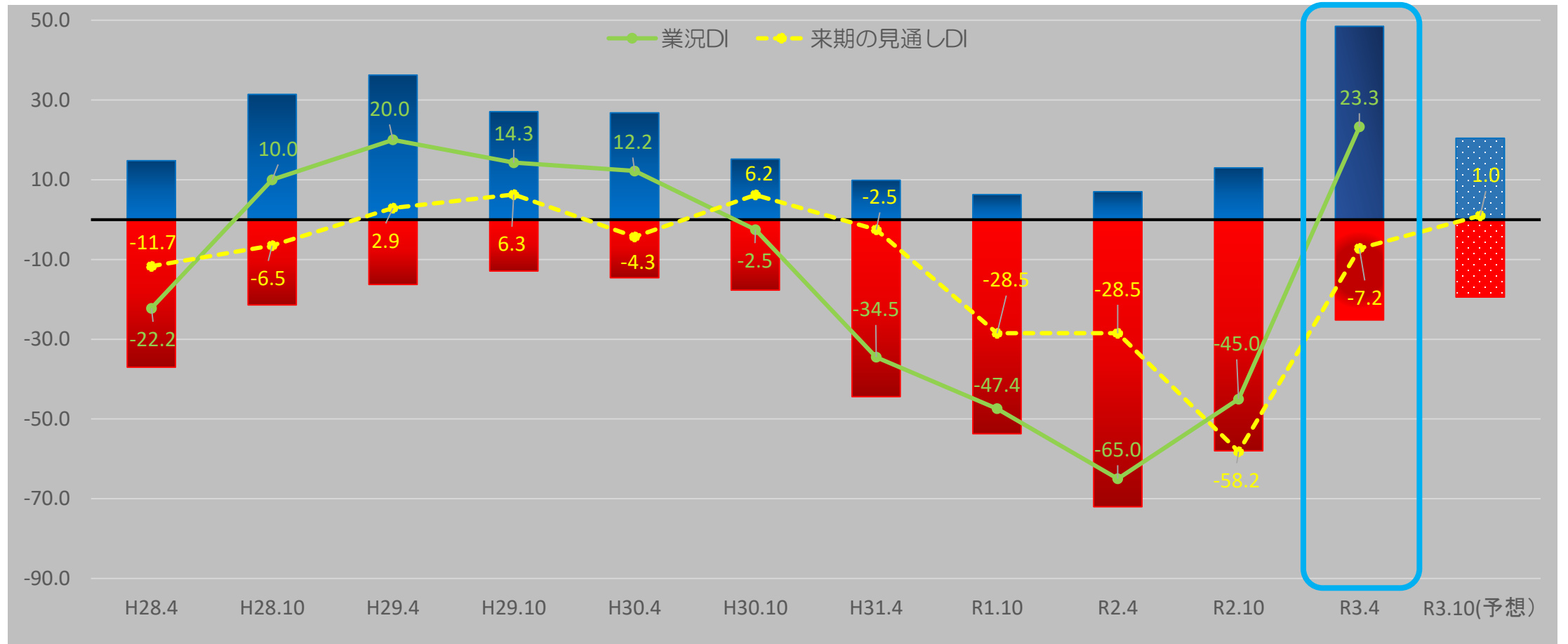
しかしながら、業種間・同業種内で改善傾向にばらつきがみられます。

《来期の見通し》

来期(6カ月後)の見通しは、業況、生産額、受注額等でプラス水準となっております。しかし、約6割が不変と見通しており、取引先の生産回復等による好転を要因とする一方で、今期の急激な生産回復による反動を懸念する企業もみられるなど、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中で、社会経済活動の回復が不透明な状況にあることが窺えます。

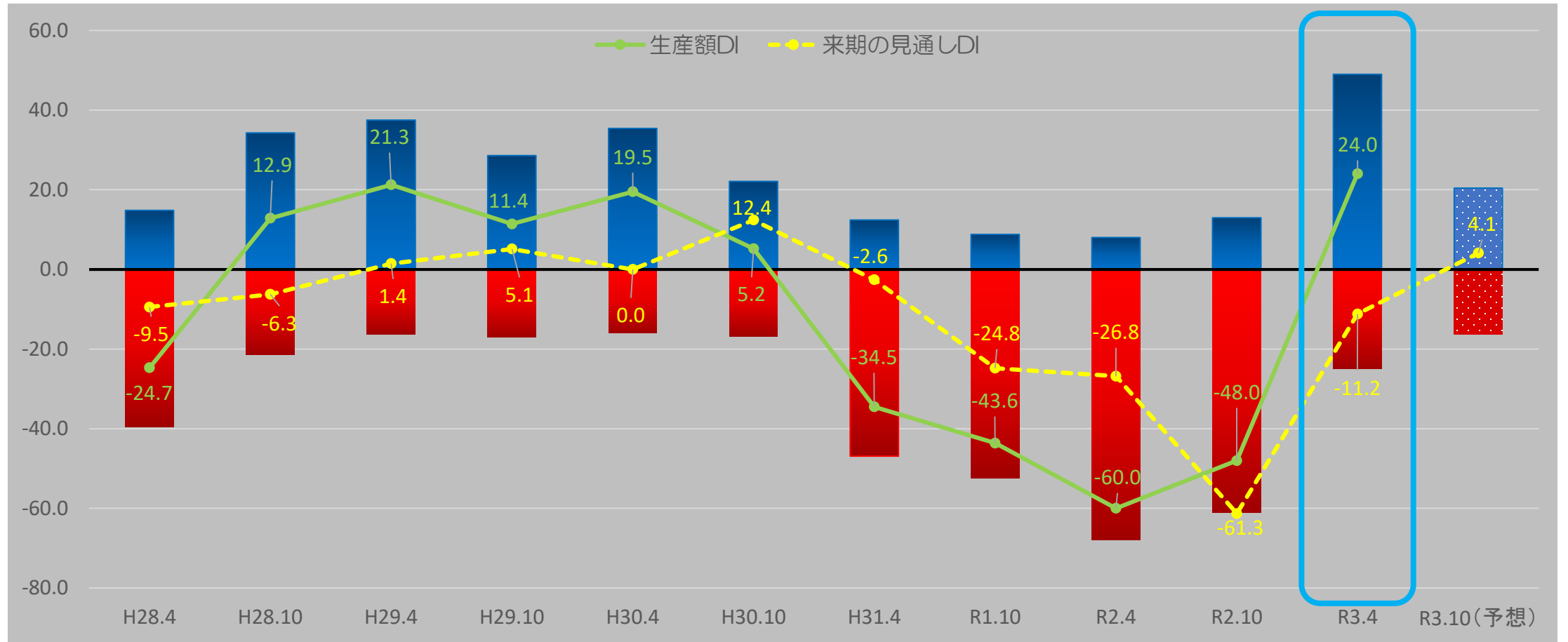
※棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇、余裕)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下、窮屈)の企業の割合です。折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇、余裕)の企業の割合から悪化(減少、低下、窮屈)の企業の割合を引いた差です。折れ線グラフ(来期の見通し)は調査時の来期(6カ月後)のDI値です。

①業況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



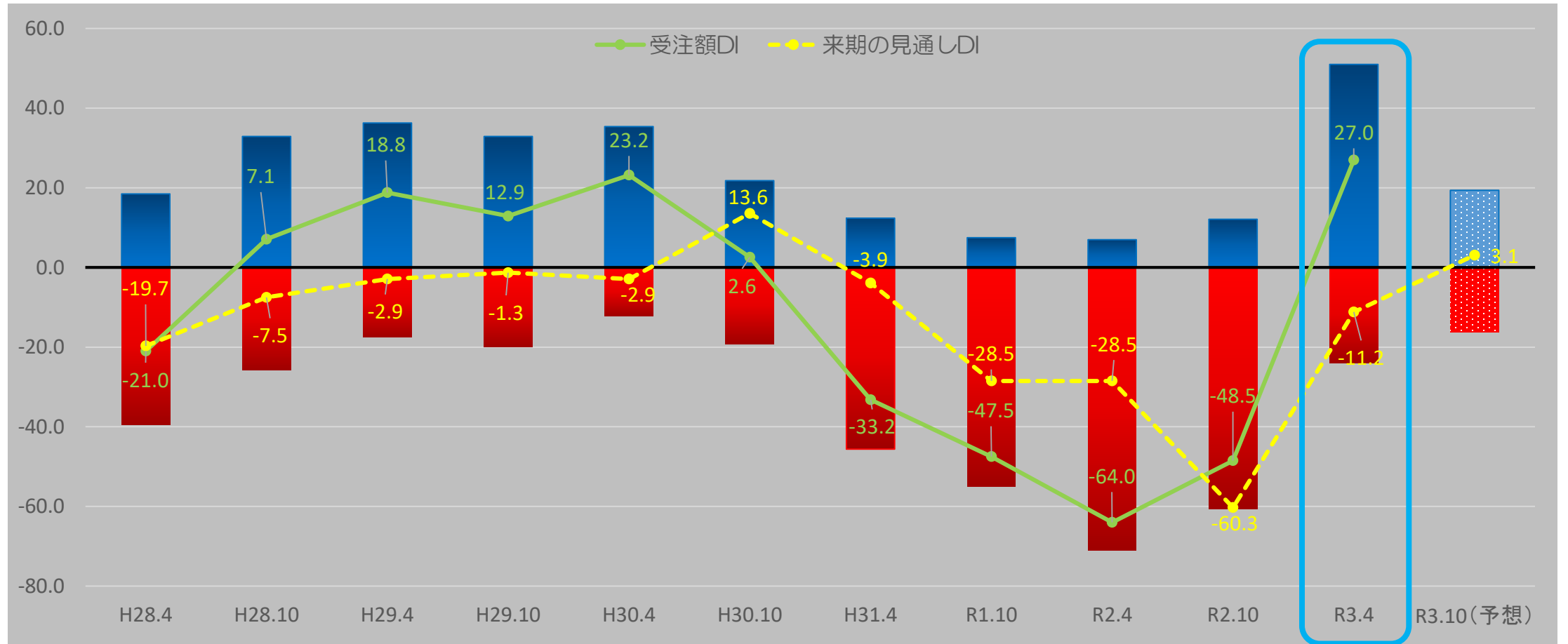
前期と比べたDIは23.3ポイントとなり、前期の▲45.0ポイントより68.3ポイント好転しました。
 また、来期の見通しDIは1.0ポイントとなり、前期の▲7.2ポイントより8.2ポイント好転しました。

②生産額DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



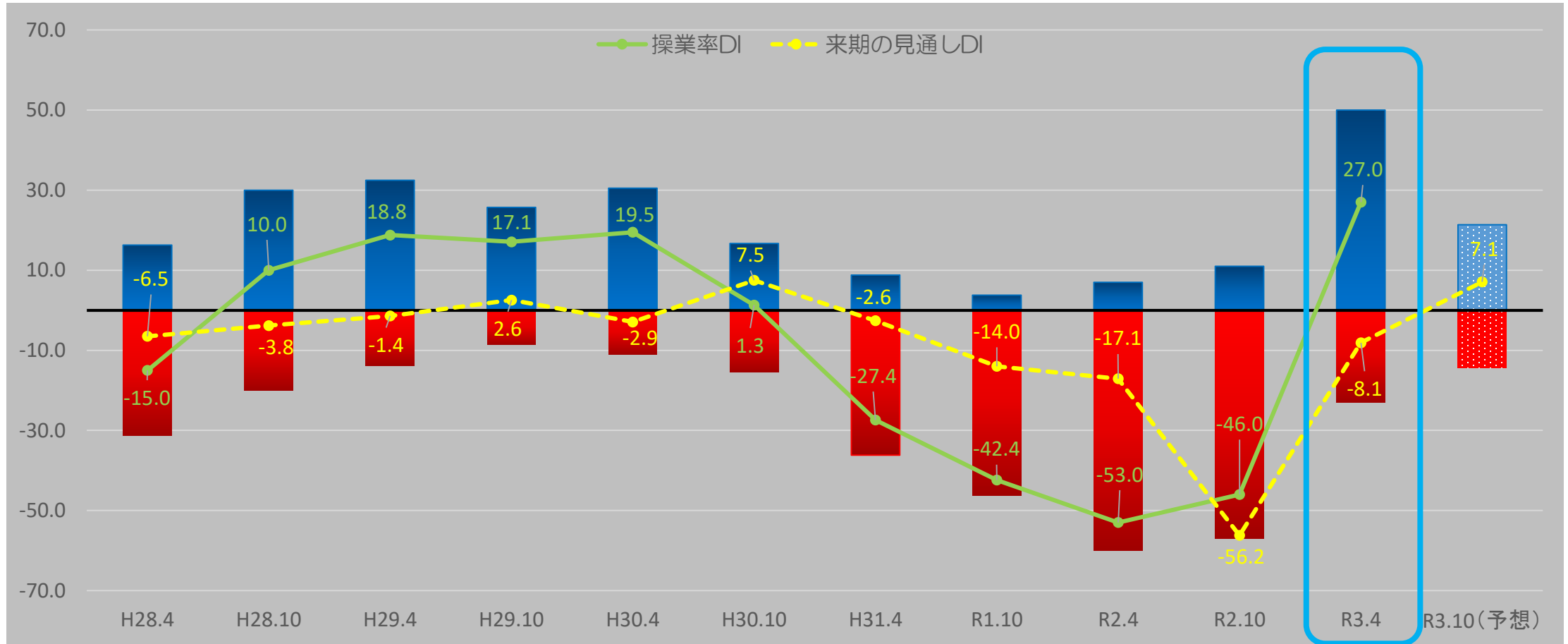
前期と比べたDIは24.0ポイントとなり、前期の▲48.0ポイントより72.0ポイント増加しました。
また、来期の見通しDIは4.1ポイントとなり、前期の▲11.2ポイントより15.3ポイント増加しました。

③受注額DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



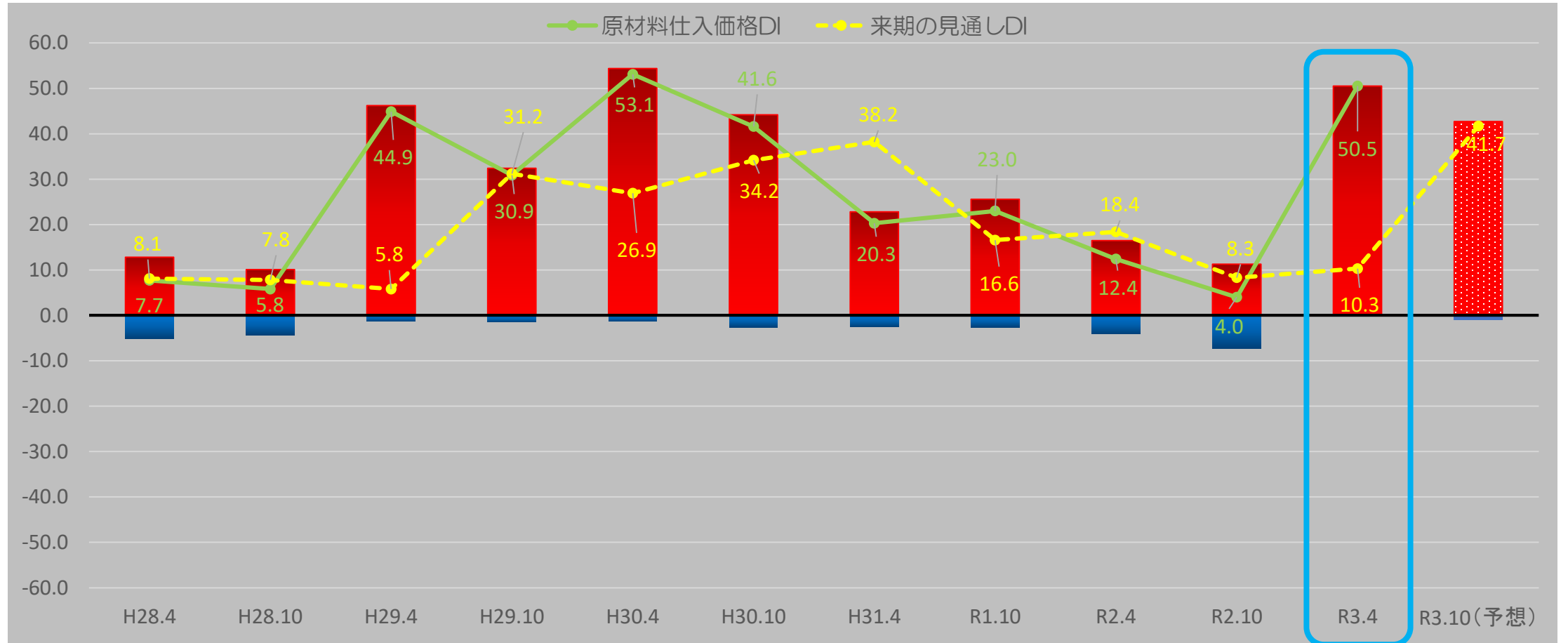
前期と比べたDIは27.0ポイントとなり、前期の▲48.5ポイントより75.5ポイント増加しました。
また、来期の見通しDIは3.1ポイントとなり、前期の▲11.2ポイントより14.3ポイント増加しました。

④操業率DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



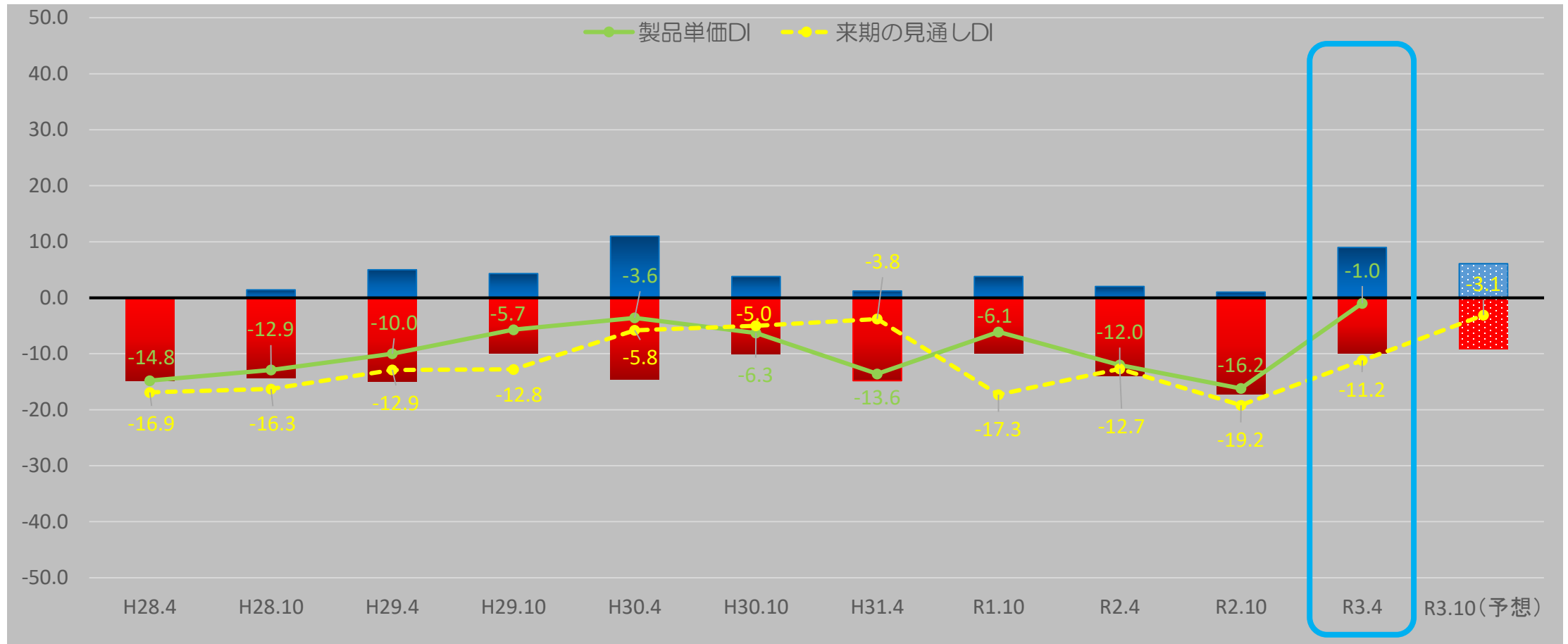
前期と比べたDIは、27.0ポイントとなり、前期の▲46.0ポイントより73.0ポイント上昇しました。
また、来期の見通しDIは、7.1ポイントとなり、前期の▲8.1ポイントより15.2ポイント上昇しました。

⑤原材料仕入価格DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



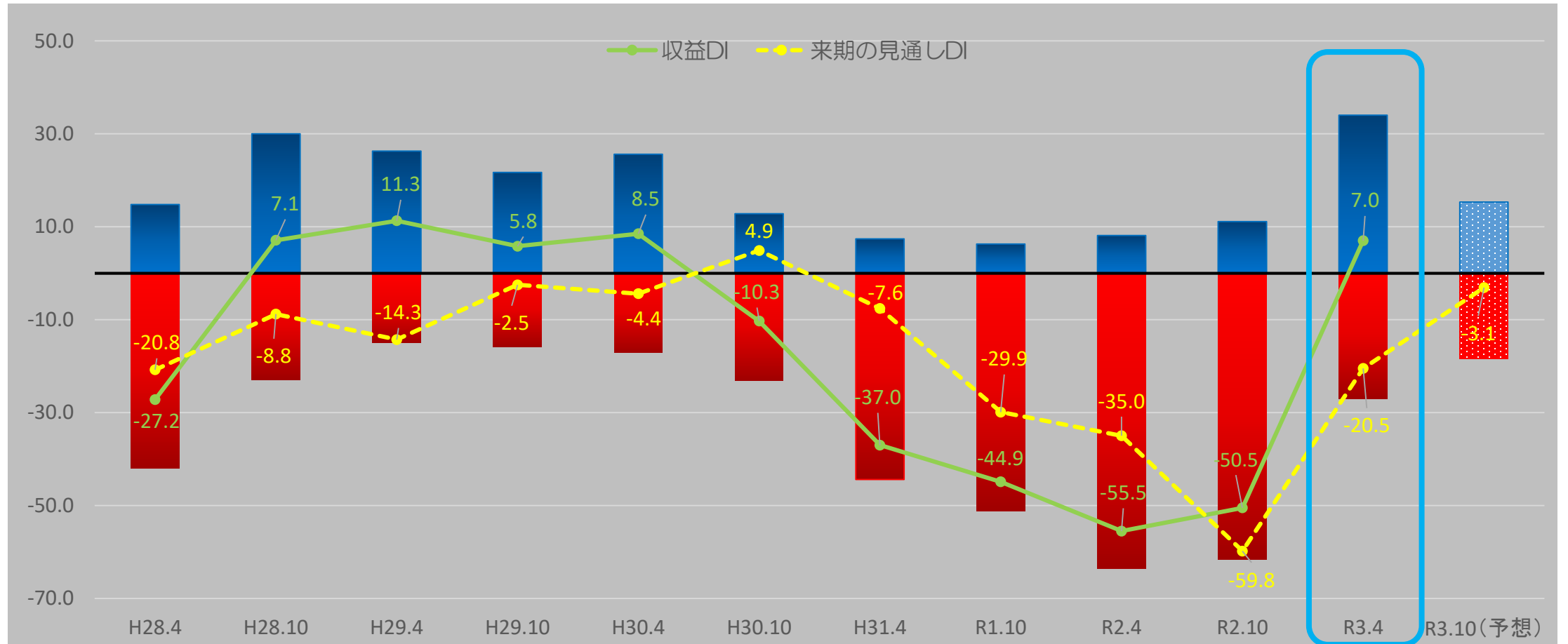
前期と比べたDIは、50.5ポイントとなり、前期の4.0ポイントより46.5ポイント増加しました。
 また、来期の見通しDIは、41.7ポイントとなり、前期の10.3ポイントより31.4ポイント増加しました。

⑥製品単価DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



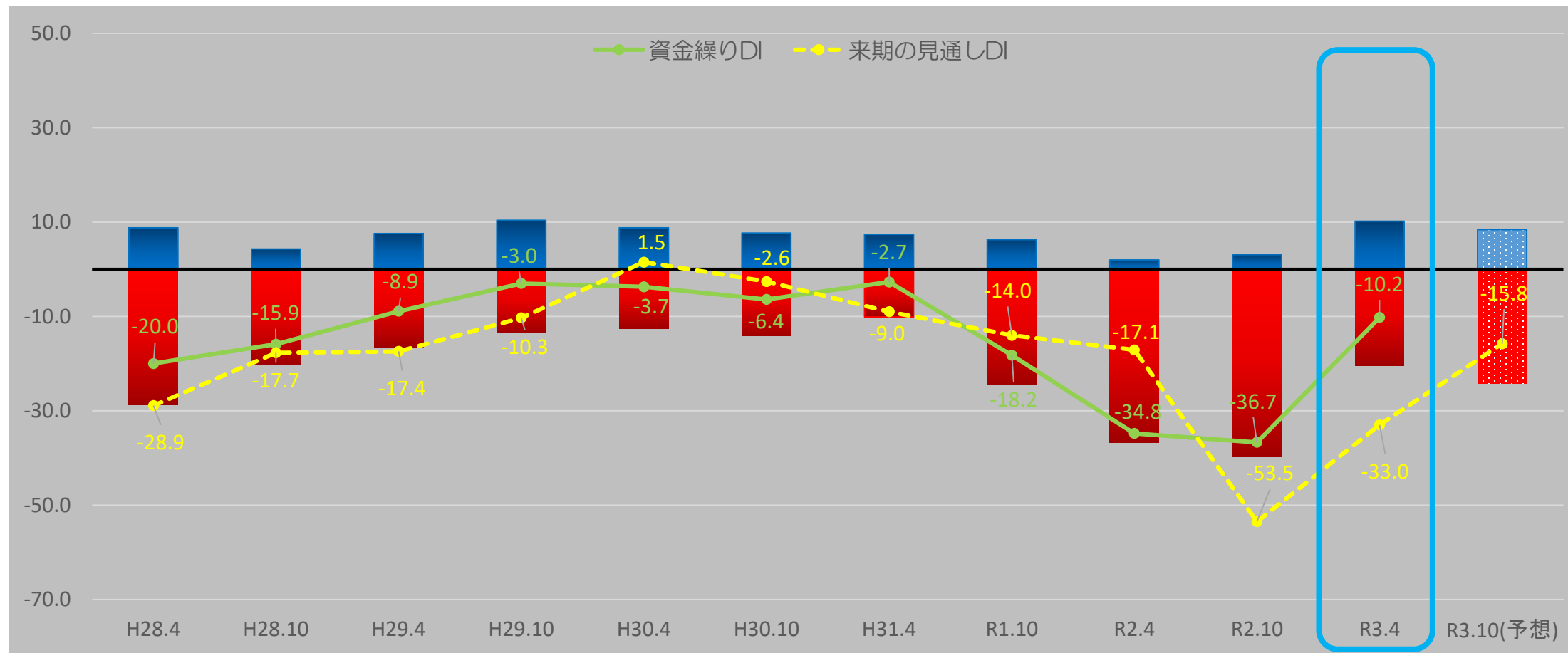
前期と比べたDIは、▲1. 0ポイントとなり、前期の▲16. 2ポイントより15. 2ポイント上昇しました。
 また、来期の見通しDIは、▲3. 1ポイントとなり、前期の▲11. 2ポイントより8. 1ポイント上昇しました。

⑦収益DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



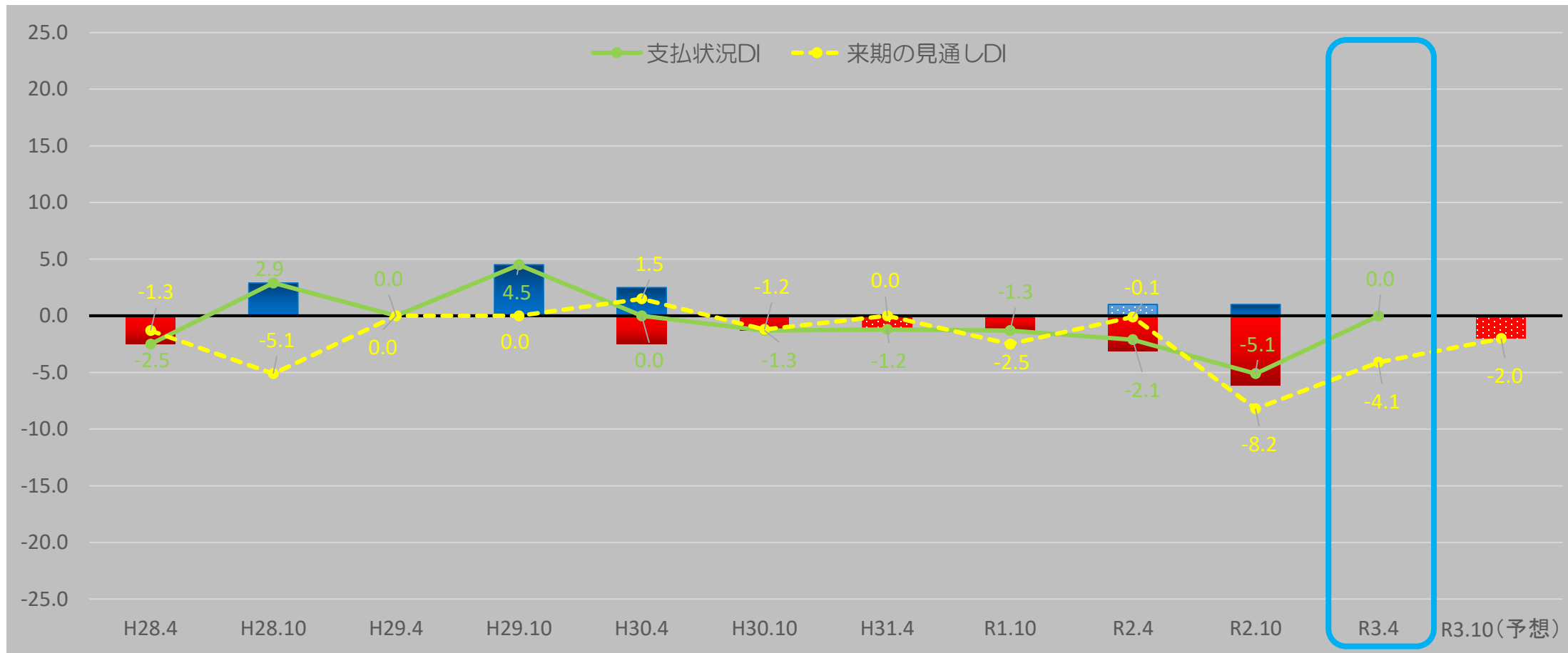
前期と比べたDIは7.0ポイントとなり、前期の▲50.5ポイントより57.5ポイント増加しました。
また、来期の見通しDIは▲3.1ポイントとなり、前期の▲20.5ポイントより17.4ポイント増加しました。

⑧資金繰りDI【前期(6ヶ月前)に比べて】



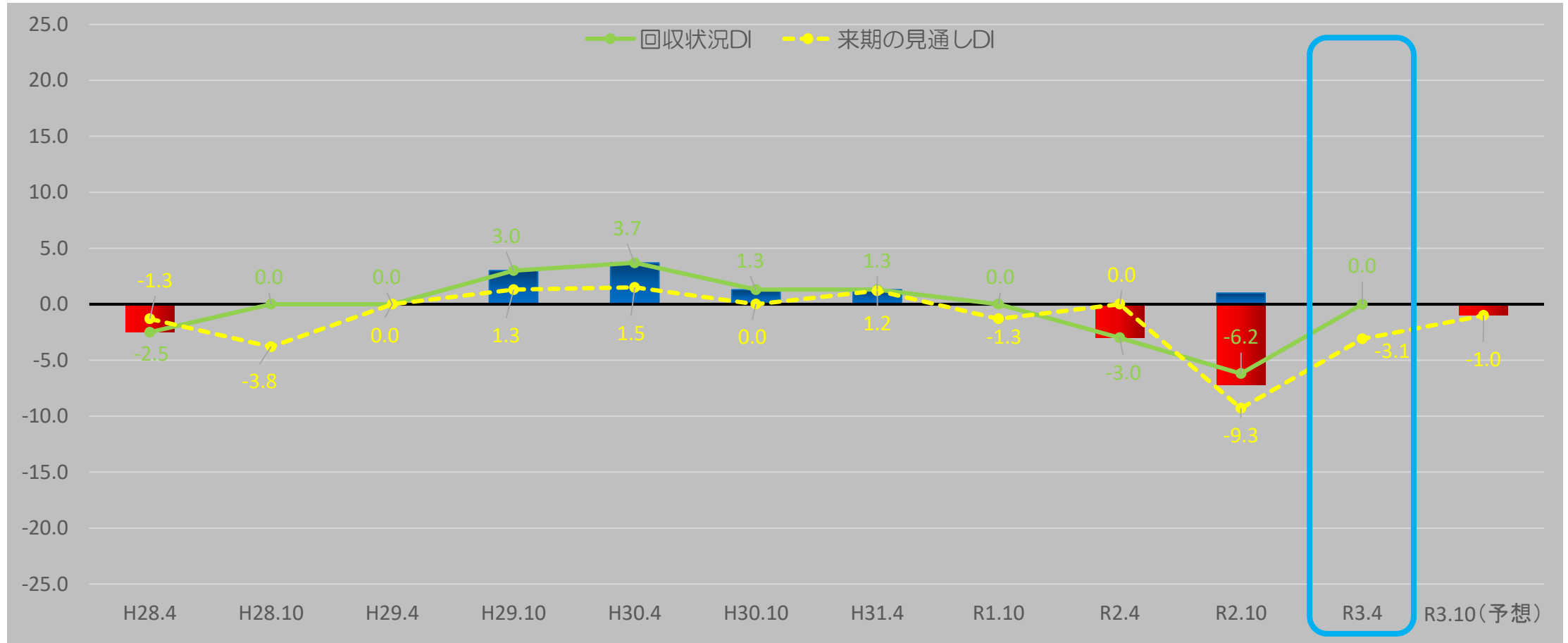
前期と比べたDIは、▲10.2ポイントとなり、前期の▲36.7ポイントより26.5ポイント上昇しました。
 また、来期の見通しDIは、▲15.8ポイントとなり、前期の▲33.0ポイントより17.2ポイント上昇しました。

⑨支払状況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、0.0ポイントとなり、前期の▲5.1ポイントより5.1ポイント好転しました。
 また、来期の見通しDIは、▲2.0ポイントとなり、前期の▲4.1ポイントより2.1ポイント好転しました。

⑩回収状況DI【前期(6ヶ月前)に比べて】



前期と比べたDIは、0.0ポイントで前期の▲6.2ポイントより6.2ポイント好転としました。
 また、来期の見通しDIは、▲1.0ポイントとなり、前期の▲3.1ポイントより2.1ポイント好転しました。

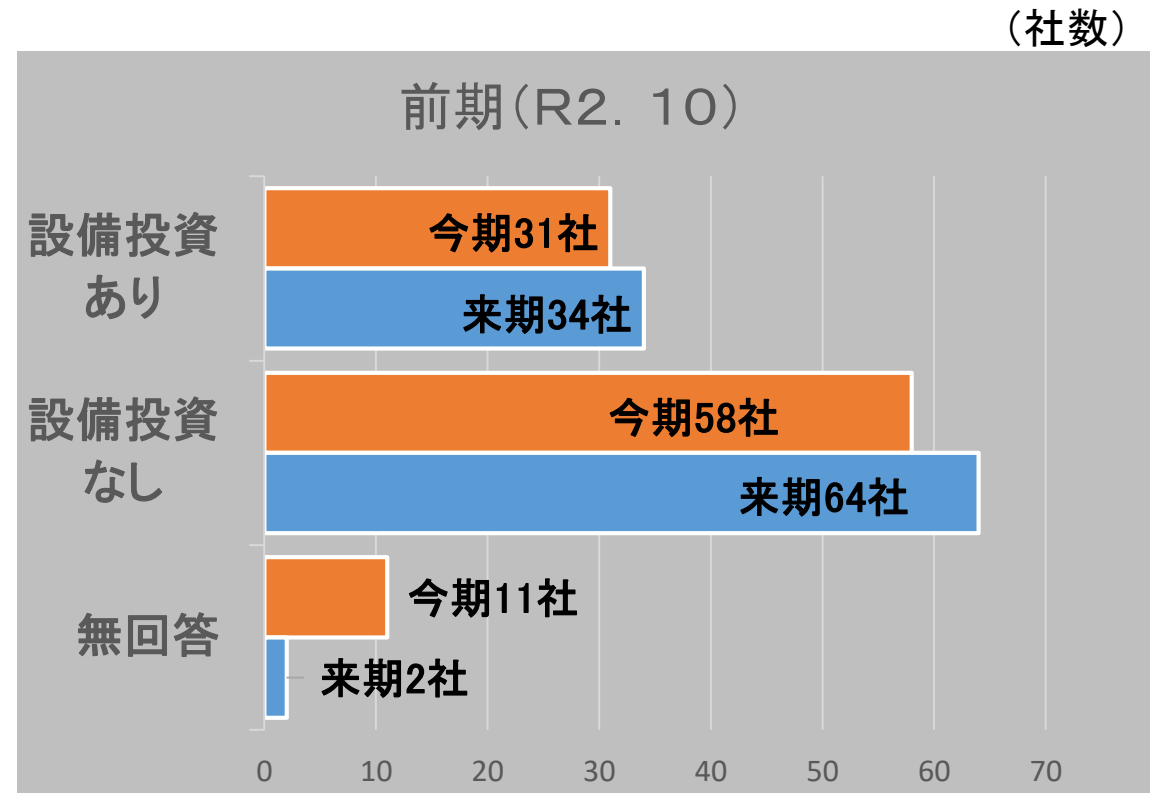
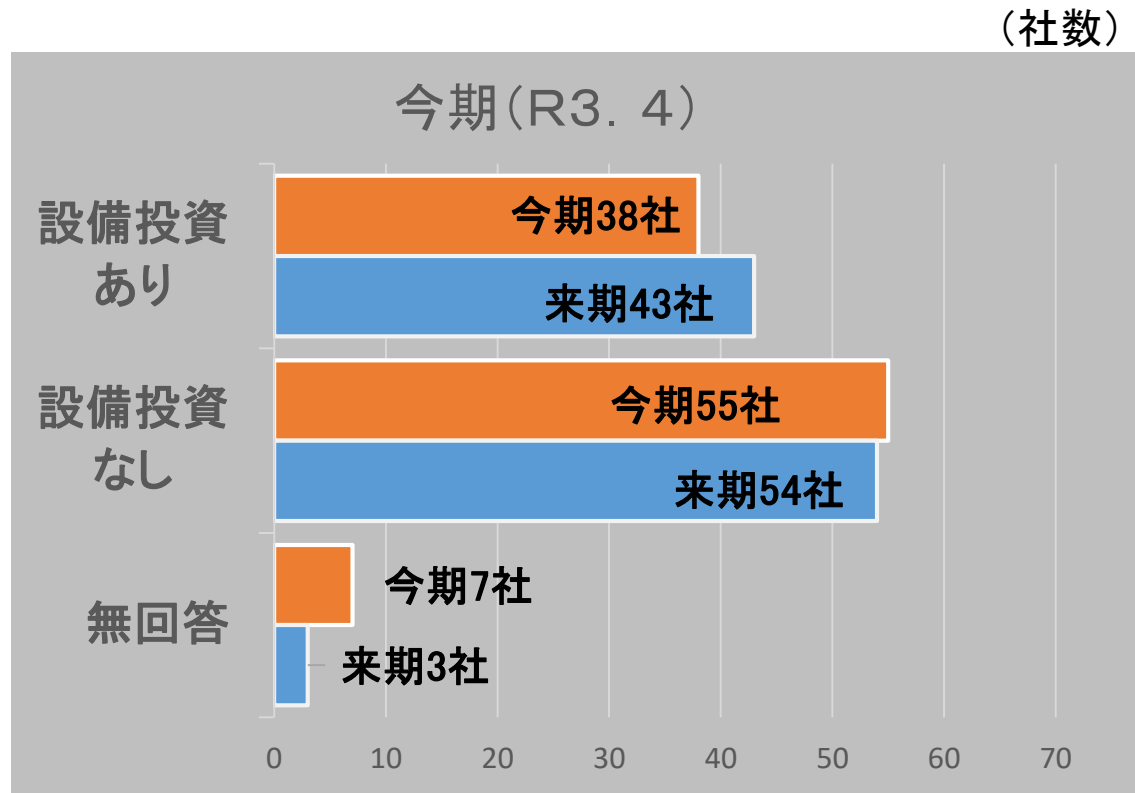
⑪ 今期の業種別業況DI

	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造
前期に比して	35.0	20.0	9.2	▲14.2	15.5	66.7
前年同期に比して	32.5	8.0	36.5	▲14.2	7.8	66.7

⑫設備投資について

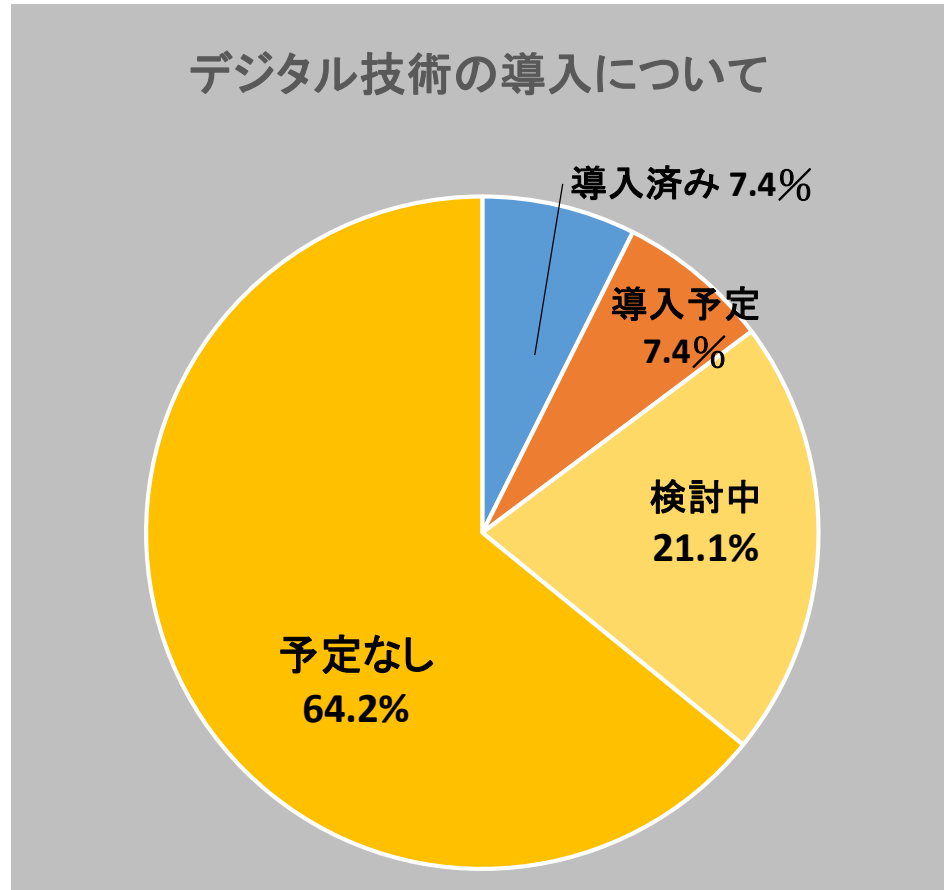
調査企業数: 100社

・設備投資の状況について



設備投資を行っている(計画している)と回答した企業が、今期38社 来期43社となりました。
今期の設備投資は、前期より増加となっています。

⑬ デジタル技術の導入

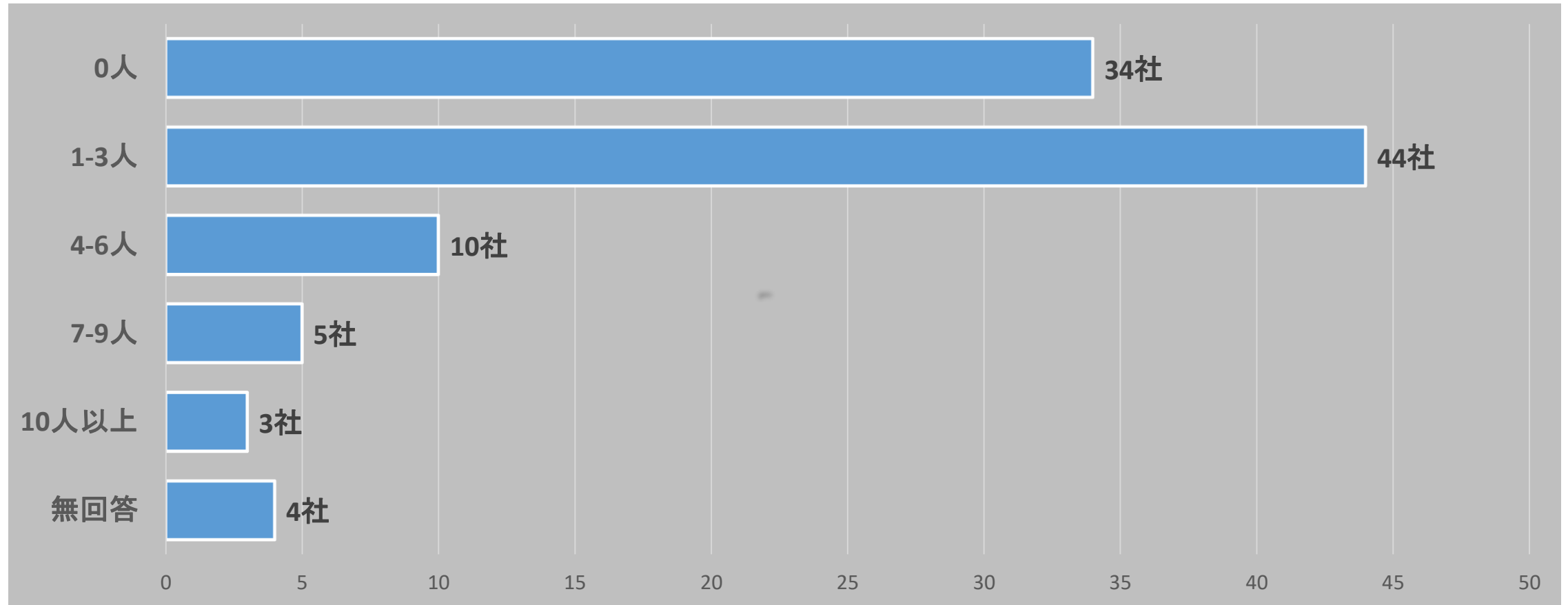


	精密	機械	電気	計量	表面処理	鋳造
導入済み	5.4%	0.0%	18.2%	14.3%	16.7%	0.0%
導入予定	5.4%	8.0%	0.0%	28.6%	8.3%	0.0%
検討中	27.0%	28.0%	9.1%	0.0%	16.7%	0.0%
予定なし	62.2%	64.0%	72.7%	57.1%	58.3%	100.0%

デジタル技術を導入済み、あるいは導入予定がある企業が全体の14.8%となりました。

⑭現在雇用している高年齢者(65歳以上)の人数

(社数)



高年齢者を1人以上雇用している企業が全体の62社となりました。

⑮現在導入している高年齢者就業確保措置

項目	今期(R3. 4)
70歳までの雇用継続制度の導入	19社／100社
70歳までに定年引上げ	5社／100社
定年制の廃止	4社／100社
その他	5社／100社
未着手	56社／100社
無回答	11社／100社

★未着手と回答した56社のうち今後導入を検討している高年齢者就業確保措置



項目	今後の予定
70歳までの雇用継続制度の導入	25社／56社
70歳までに定年引上げ	3社／56社
定年制の廃止	2社／56社
その他	4社／56社
予定なし	22社／56社

既に高年齢者就業確保措置を導入している企業は33社で、未着手とした56社のうち今後導入を予定している企業は34社となりました。

⑩今後の販路開拓の実施方法について

項目	今期(R3. 4)			前期(R2. 10)			順位変動	前期比ポイント
	回答数	回答割合	順位	回答数	回答割合	順位		
取引企業等を通じたあっせん・紹介	39社／100社	39.0%	①	18社／100社	18.0%	⑤	↑	21.0
ホームページのリニューアル	34社／100社	34.0%	②	32社／100社	32.0%	①	↓	2.0
展示会に出展する	31社／100社	31.0%	③	19社／100社	19.0%	④	↑	12.0
企業訪問による営業活動	30社／100社	30.0%	④	29社／100社	29.0%	②	↓	1.0
オンラインによる営業活動	26社／100社	26.0%	⑤	17社／100社	17.0%	⑥	↑	9.0
特になし	21社／100社	21.0%	⑥	26社／100社	26.0%	③	↓	▲5.0

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じるなかで、ホームページやオンライン展示会など非対面による販路開拓が増加する一方、通常の展示会への出展意欲も高まりを見せており、「特になし」と回答した企業が減少しました。

※○数字は、回答数による順位